

社会資本総合整備計画 中間評価書

平成31年03月11日

計画の名称	岡山県の地域活性化と快適に移動できるまちづくりを目指した街路整備											
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	倉敷市, 岡山県											
計画の目標	渋滞を解消し、交通の流れを円滑化することにより、人と物のスムーズな移動による快適生活圏の向上を図る。											
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	4,493	A	4,493	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	都市部における渋滞の解消による移動快適性の向上 都市部における渋滞の解消による移動快適性の向上 Σ 事業後走行時間費用 / Σ 事業前走行時間費用 \times 100	0%減	7%減	16%減
2	広幅員歩道整備による歩行者・自転車の移動サービスの向上 広幅員歩道整備による歩行者・自転車の移動サービスの向上 歩行者・自転車年間交通量 \times 移動の快適性向上に対する支払い意思額	0百万円	54百万円	69百万円

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	倉敷市	直接	倉敷市	区画	改築	倉敷駅周辺第二地区	土地区画整理 A=22.5ha	倉敷市	■	■	■	■	■	1,995	—	
	A01-002	街路	一般	倉敷市	直接	倉敷市	S街路	新設	(都) 新田上富井線	道路新設 L=1.0km	倉敷市	■	■				162	—	
	A01-003	街路	一般	倉敷市	直接	倉敷市	区画	改築	倉敷駅前東地区	土地区画整理 A=3.6ha	倉敷市	■	■				74	—	
	A01-004	街路	一般	倉敷市	直接	倉敷市	S街路	新設	(都) 西阿知矢柄線	道路新設 L=0.3km	倉敷市	■	■				60	—	
	A01-005	街路	一般	倉敷市	直接	倉敷市	区画	新設	倉敷駅周辺第二地区	土地区画整理 A=22.5ha	倉敷市	■	■	■	■	■	1,863	—	
A01-006	街路	一般	倉敷市	直接	倉敷市	区画	新設	倉敷駅前東地区	土地区画整理 A=3.6ha	倉敷市	■	■				1	—		
A01-007	街路	一般	岡山市	直接	岡山市	S街路	改築	(都) 河辺高野山西線	バイパス L=0.7km	津山市	■					65	—		
A01-008	街路	一般	岡山市	直接	岡山市	S街路	改築	(都) 林田小原線	バイパス L=0.1km	津山市	■	■				45	—		
A01-009	街路	一般	倉敷市	直接	倉敷市	S街路	新設	(都) 矢柄西田線	道路新設 L=1.0km	倉敷市	■	■				228	—		

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
岡山県において評価を実施	平成31年3月
	公表の方法
	岡山県ホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・（都）林田小原線の供用開始や倉敷駅前東土地区画整理事業の完成により、都市部における渋滞が緩和され、移動快適性の向上が図られた。 ・（都）林田小原線の供用開始や倉敷駅前東土地区画整理事業の完成により、広幅員歩道が整備され、歩行者・自転車の移動サービスの向上が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・（都）林田小原線の整備により右折車線と歩道が設置されたことにより、自動車と自転車・歩行者の輻輳が解消され、安全な歩行空間が確保された。 ・倉敷駅前東土地区画整理事業の完成により、宅地の高度利用が図れ、生活拠点の質的向上及び商業拠点としてのポテンシャルが向上した。

○特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に向け、引き続き効率的・効果的な整備を推進する。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	指標①（都市部における渋滞の解消による移動快適性の向上（走行時間費用の削減））	
	中間目標値	7%減
	中間実績値	3%減
2	指標②（広幅員歩道整備による歩行者・自転車の移動サービスの向上）	
	中間目標値	54百万円
	中間実績値	43百万円